

第68回日本読書学会大会(2024.9.22)

日本読書学会読書状況調査 の概況報告

○井関 龍太(大正大学)・小山内 秀和(畿央大学)・
猪原 敬介(北里大学)・福田 由紀(法政大学)・
濱田 秀行(群馬大学)・足立 幸子(新潟大学)・
平山 祐一郎(東京家政大学)

0

読書世論調査

- 毎日新聞社が母体として企画・運営
(毎日企画サービスが実施)
- 読書週間(10月末～11月初旬)に
毎日新聞紙上で特集記事(概要報告)
- 報告書は二部構成
 - 読書世論調査: 成人が対象(73回で終了)
 - 学校読書調査: 小中高の児童生徒が対象
- 少なからぬ国語教育・読書研究の基礎資料として
利用されてきた

1

基礎資料としての調査の必要性

- 読書動向に関するデータがなかったら?
 - 過去のデータに基づく
 - データなしで議論する
→ 定点観測的な調査が求められる
- 日本読書学会読書状況調査
 - 読書動向についての基礎データを収集
 - 2024年3月調査実施
 - 継続の可能性については、今後協議

2

調査の指針

- 既存の調査との連続性を重視
 - 「一日何分」「一カ月何冊」: 様々な問題はあるが、回答しやすさ・解釈しやすさからも採用
 - 週刊誌・月刊誌等の内訳は簡略化
 - 電子書籍, 動画, SNSの利用も考慮
- 一般成人による読書の実態を捉える
 - 成人は平均して月1～2冊しか読まない(飯田, 2023)
- ウェブ調査による実施

3

調査概要

- 調査項目
 - 人口統計学的情報: 年齢, 性別, 居住地など
 - 基本項目: 読書の頻度や手段について尋ねる
 - 特集項目: 読書に関する情報源や読書の環境などについて尋ねる
- 手続き: オンライン調査会社に依頼・実施
- 調査回答者: 18歳以上の5つの年代と性別について均等割り付け(計3,000名)

4

4

一日あたりに費やす時間

- 「0分(読まない)」の選択率
 - 総合(雑誌・漫画・電子含む): 32.2%
 - 紙の書籍(雑誌・漫画以外): 59.2%
- ※参考: 文化庁『令和5年度国語に関する世論調査』
雑誌・漫画を除く書籍(電子含む)を「読まない」は62.6%

5

5

1ヶ月当たりの読書冊数・動画視聴数

- 「0冊」の選択率
 - 紙の書籍: 58.6%
 - 電子書籍: 72.1%
 - 紙・電子とも: 52.4%
- ※参考: 『第73回読書世論調査』の平均読書冊数は1.1冊

6

6

所有数と一か月当たりの費用

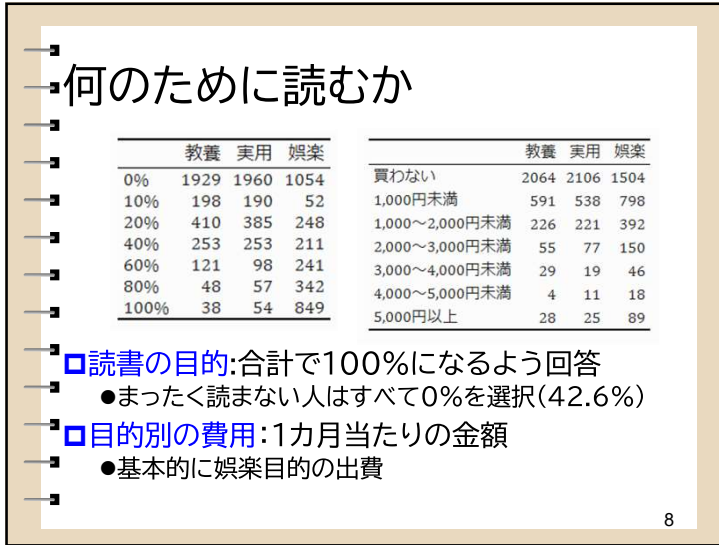
	本	電子書籍		本	電子書籍
0冊	859	2188	買わない	1655	2394
1~20冊	895	449	1,000円未満	779	368
21~50冊	475	156	1,000~2,000円未満	306	130
51~100冊	319	86	2,000~3,000円未満	118	59
101~200冊	205	52	3,000~4,000円未満	45	18
201~400冊	97	26	4,000~5,000円未満	19	5
401冊以上	150	43	5,000円以上	78	26

注) サブスクリプションを除く

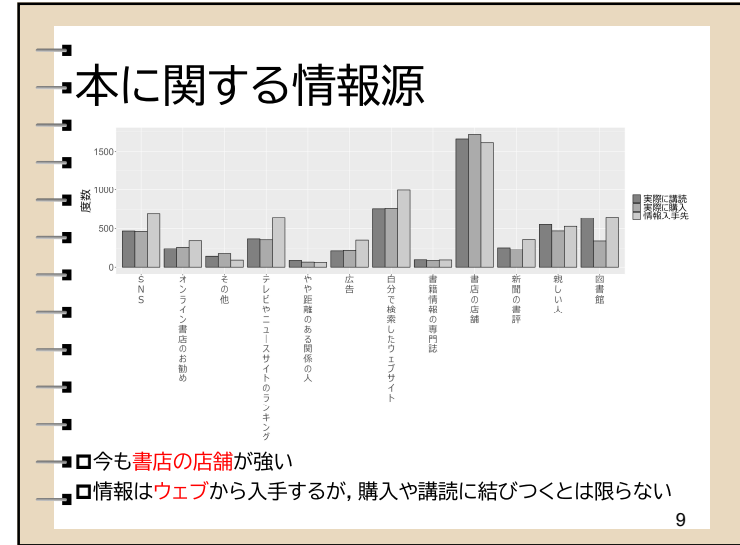
- 自分の本(紙のみ, 雑誌・漫画を除く)を1冊も所有していない成人は28.6%(1か月間まったく買わない人は55.2%)
- 本調査のサンプルでは, 電子書籍はそれほど普及していない

7

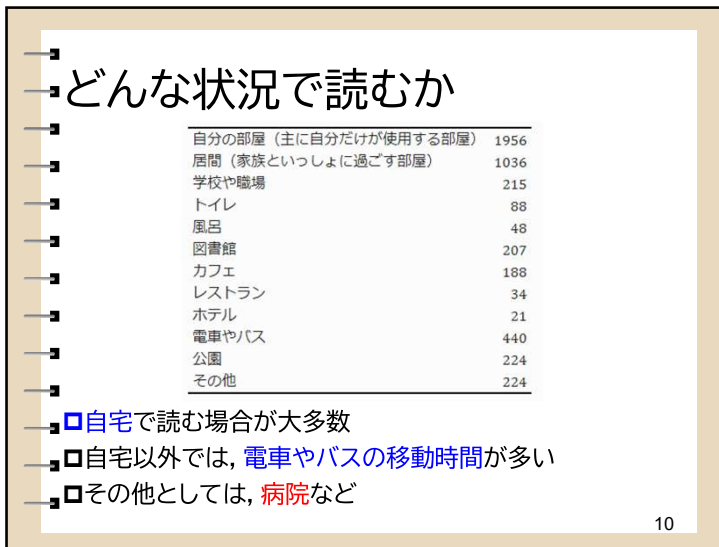
7



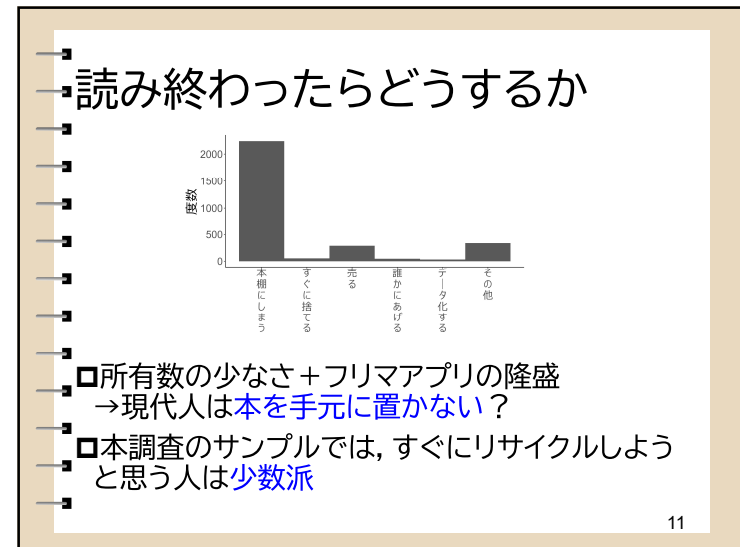
8



9



10



11

読む人は読む

- 「0分(読まない)」の人を除いた上での一日当たりの読書時間
 - 総合(雑誌・漫画・電子含む):55.0分
 - 紙の書籍(雑誌・漫画以外):32.8分
 - 電子書籍:32.3分
 - ✓一日約一時間ならけっこう読んでいるのでは？(日々の可処分時間を考えると……)
 - ✓「0分」の人を含めての平均でも30分は超える(総体としての成人の読書時間の評価)

12

12

何が「読書」と捉えられるのか

- 「読まない」人でも、毎日まったく文字を読まずに過ごしているとは考えられない
 - 仕事も含め、毎日読む文章の量を知りたい
 - 実測は非常に困難(協力者の負担, 記録の方法, 報告の単位)
 - 冊数で捉えられない読書量を把握できない
- 回答者における「読書」のイメージ
 - 娯楽で読むもので、文学や歴史など特定ジャンルのみをカウントしている可能性

13

13

今後の課題

- 調査項目・測定法の洗練:より実態を反映するように
 - しかし、どのような実態を捉えるのか
- 調査者が問われること
 - 「読書」とは何か
 - ✓目的, 手段, 対象をどのように限定するのか
 - 何のために調査するのか
 - ✓リテラシー or 読書習慣の把握・推測?

14

14

- 本報告資料は
- 下記よりダウンロードできます



<https://www.readingassoc.site/日本読書学会読書調査の概況報告>

15

15